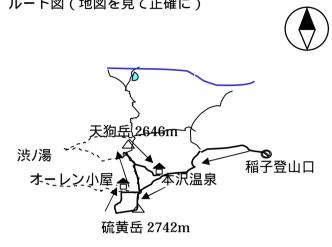
DENSO

11 月度 例会 報告者 中山 正夫 CL吉川 SL山田 松中 山行報告書 報告日 11/12 参 加 江頭 津田 金子 渡辺 メンバー 08年11月7日(金)~ 山域 北八ヶ岳 亀山 中山 (9名) 山行日 硫黄岳・天狗岳 08年 11月8日(日) 山名 山行目的 冬山合宿偵察山行 コースタイム (天候:天気図記号) 11/9(日)曇り 11/7(金) 曇り ルート図(地図を見て正確に) 4:00 起床 5:00 朝食 7:30N1 駐車場発

配布先 集会:12 山行: 1 リーダー 原紙:集会 担当者



23:30 小淵沢道の駅着 01:00 就寝 |11/8(土)曇り 6:00 起床 7:00 道の駅発 8:20~45 稲子登山口 9:48~10:00 休憩 10:58~11:18 本沢温泉 12:20~40 夏沢峠 13:35~49 硫黄岳頂上|18:00N1 駐車場着 |14:00~05 赤岩/頭 14:50 オーレン小屋着 16:00 冬期小屋内テント 設営 18:00 食事 19:00 コンパ

21:00 就寝

6:03 オーレン小屋発 7:28~44 休憩 8:22~32 東天狗岳 8:40~50 西天狗岳 9:05~15 東天狗岳 10:36~46 本沢温泉 12:00 稲子登山口 13:00~44 稲子湯(入浴)

2.5 万分の1地図: 松原湖・蓼科

山行報告 11/7(金)23:30 小淵沢道の駅の松林の中にテント泊 11/8(土)8:20 稲子登山口着、唐松の林道 を歩き出す。1回休憩の後、本沢温泉 10:58 着、時おり小雪がちらつき寒い曇り空の中ちょっと野天風呂 を見学して登り始める。ジグザクに樹林帯の登山道を登り夏沢峠 50 分で着。硫黄岳への登りは樹林を抜 けると岩のゴロゴロした、爆裂火口のふちを行く。北西からの風が強く体感温度・10 ぐらい。13:35 頂 上着。360°の展望よし、里山の唐松林がオレンジ色に燃えている。寒さに震えながら記念撮影の後、赤 岩ノ頭に行く、冬期は閉鎖になるオーレン小屋への道を下り、14:50 オーレン小屋着。親切な小屋主のおか |げで、冬期小屋の中にテントが張れた(感謝)。酒粕入り豚汁のおいしい食事の後楽しくコンパし、21:00 就 寝。11/9(日)6:03 発、夏沢峠まで登り返し箕冠山手前の樹林で休憩、根石小屋からは、寒い風の中を 8:22 東天狗岳着。空身で西天狗岳へ行き、記念撮影。八ヶ岳全部が見渡せる。来た道を白砂新道分岐まで戻り、 本沢温泉へ下る。下り始めが急で冬は要注意だが、すぐ下が樹林帯で問題ないだろう。10:36 本沢温泉着 林道を駐車場まで戻り、稲子湯で暖かい湯につかり、麦草峠経由で刈谷 18:00 着。

(感想)一人の山行が多く、久々の例会テント泊と言うことで、テント マナーや、休憩ごとのもたつき等、みんなに迷惑をかけない様に心が、 けたつもりです。コンパでは、山の歌を一人3曲も歌ってもらい、久々 ににぎやかな、楽しい夜をすごさせてもらいました。やっぱり、ひと りより、みんなと行くほうが楽しいです。

リーダー所見 昨年の紅葉山行と打って変わり、麓の紅葉と対照的 な寒風を味わいながらの山行。しかし今回はシュラフ持たずに登ったK先 輩と2 Lのビール(燃料)を担ぎ上げたN先輩には脱帽する余りですが、 |何より最高のメンバーに巡り合い、無事にかつ楽しく終えることができた ことは今偵察の最高の成果だったと思います。

フリースペース 山の紹介・スケッチ・エピソ ード・その他自由に



確認 (J-9° -) 吉 08/11/12 作成 (報告者)

中

08/11/12